

山形新聞社の許可を得て掲載

公益大と新庄2高校 協定

グローバル
教育で連携

東北公益文科大(酒田市、
神田直弥学長)は25日、2026年度から「新庄志誠館高」(新庄市)に統合される新庄北、新庄南の両高校と、高大連携協定を締結した。地球規模の視野で地域課題の解決を図る人材を育成する「グローバル教育」の実践などで協力する。

同大も26年度に公立化と国際学部を設置を目指している。これまで庄内地域の高校を中心に連携協定を結んでおり、最上地域は初めて。来年4月以降は新庄志

誠館高に協定が引き継がれる。酒田市の同大で締結式



を行い、神田学長と新庄北高の石山宣浩校長、新庄南高の森美千子校長がそれぞれ署名した。

協定に基づき、同大は高校の探究型学習などへの助言や教員の派遣、高校は同大公開講座を生徒や教員が受講する。神田学長は「新しくスタートを切る大学と高校が手を取り合うことで、相乗効果が期待できる」とあいさつした。(阿久津誠)

協定書に署名した(左から)石山宣浩校長、神田直弥学長、森美千子校長

|| 酒田市・東北公益文科大